

令和4年度 藤波こども園 事業計画書

1 施設の名称、所在地等

名 称	学校法人藤波学園 藤波こども園 (幼保連携型認定こども園)
目 的	義務教育およびその後の教育の基礎を培うものとしての子どもに対する教育、ならびに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行う。
所 在 地	滋賀県高島市安曇川町下小川120番1

2 児童数等 令和4年4月1日現在

年齢		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
1号	利用定員	/			12	23		35
	入園人員				12	10	10	32
2・3号	利用定員	2	18		13	27		60
	入園人員	2	5	12	13	11	13	56
満3歳以上の子どもについて 編成する学級数		/			2	1	1	4

3 設置者および施設長

学校法人藤波学園 理事長 河合 吉輝 藤波こども園 園長 澤 悦弘

4 教育および保育の目標および主な内容等

(1) 目標 たくましいからだ・がんばるちから・やさしいこころ

(2) 重点とする取り組み

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用・手洗い・消毒・換気・三密回避等に取り組む。
- ・ 教員の乳児担当・幼児担当の交流をし、相互理解を図り、新たな保育の学びをする。
- ・ 2・3号園児の増加、長時間保育の増加に伴い、早朝・延長・土曜保育の充実と連携を図る。
- ・ 特別支援児・障害児に個別の支援をしながらも集団とつなげていく。
- ・ 処遇改善加算Ⅱの研修等に積極的に参加する。
- ・ つどいの広場(子育て支援)の庭を整備し、親子が近くで外遊びが楽しめるようにする。

(3) 主な内容

① 教育・保育計画

ぞうきりん・ぱんだホーム(3～5歳児)のねらい

- ・異年齢での生活や遊びを通して一人一人の違いに気づき、思いやりや親しみの気持ちをもつ。
- ・社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。

各期ごとのねらい

1期(4・5月)

- ・新しい環境に慣れ、先生や友だちに親しむ。
- ・好きな遊びを見つけて、友だち同士や先生と遊びを楽しむ。
- ・生活の流れがあり、生活のしかたを身につける。

2期(6・7・8月)

- ・身近な自然とふれあう。
- ・自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする。

3期(9・10月)

- ・集団遊びの楽しさがわかり、自分たちできまりを作ったり、守ったり、伝えたりして遊ぶ。
- ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・身近な環境に関わり、発見を楽しみ、それらを生活や遊びに取り入れようとする。

4期(11・12月)

- ・仲間と共通の目的をもち、役割分担をしてごっこ遊びを楽しむ。
- ・秋の自然にふれ、遊びに取り入れて楽しむ。
- ・感じたことを自由に表現して喜ぶ。

5期(1・2・3月)

- ・生活や遊びの中でできまりを守り、規則正しい生活習慣や態度を身につける。
- ・冬の自然現象・行事に興味や関心をもち、気づいたり、試したりする。
- ・入学・進級への期待を高め、様々なことに意欲的に取り組もうとする。

所在する年齢別		6箇月未満	6箇月から1歳3箇月未満	1歳3箇月から2歳未満	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
ねらい		個々の生活リズムを大切に し、機嫌よく過ごす。	個々の子どもの依存要求を 満たし、情緒の安定を図る。	身の回りの色々な物に関心 を示し自発的に働きかける。	安心できる大人との関係のもと で身の回りの活動を自分でしようとする。	身近な人と関わり、 友だちと遊ぶことを楽しむ	友だちとのつながりを広げ、 大人の援助のもと 集団で活動することを楽しむ。	集団の中で自己主張したり、 人の立場を考えて行動する。	進んで異年齢の子と関わり、役 割を分担する 楽しさを味わう。
望 ま し い 主 な 活 動	健康	個々の子どもの健康状態や 体の育ちを把握する。	楽しい雰囲気の中で喜んで 食事をし、離乳を進める。	粗大運動や微細運動を 楽しみながら運動機能を 高める。	身の周りのことを大人の手を 借りながら一人でできるよう になる。	体の異常を自分から訴えたり、 危険を回避するようになる。	自分でできることに喜びながら 生活に必要な基本的習慣を 身につける。	食事の仕方が身につき、 体と食物の関係にも 関心を持つ。	自分の目標に向かって 努力し、様々な運動を する。
	人間関係	個々の子どもの要求を満たし、 愛情豊かに受容する。	個々の子どもの要求を満たし、 愛情豊かに受容する。	個々の子どもの信頼関係を深め、 自分の気持ちを安心して表すこと ができるようになる。	自分の物、人の物の区別に 気づくようになる。	遊具の貸し借り、順番 交代ができるようになる。	手伝ったり人に親切に する、されることを 喜ぶ。	友だちへの親しみを深め、 自分たちで作ったきまりを 守る。	善い悪いを判断して行動する。 年齢の低い子に愛情を持ち いたわる。
	環境	個々の子どもの生活リズムを 大切に環境を整える。	歩行確立までのさまざまな 運動が十分楽しめる環境を 整える。	好きな遊具・自然物に自分 から関わり十分に遊ぶ。	身の回りの自然物等に関心 を持ち、探索や模倣をして 遊ぶ。	身の回りの物の色・数・量・形 などに興味を持ち、違いに 気づく。	身近な公共施設交通機関等に 関心を持ち世界を広げよう とする。	生活の中で位置の違い、時刻・時間に興味関心 を持つ。	身近な環境や自然に関わり、 生活や遊びに取り入れ、生活 を広げる。
	言葉	子どもの喃語や泣き声にやさしく 応じ関わりを楽しませる。	生活やいろいろな遊びの中で 大人とのやりとりやまね をして楽しむ。	興味のある絵本を大人と一緒に 見ながらことばの繰り返し・ 模倣を楽しむ。	大人と一緒にごっこ遊びを する中でことばのやりとりを 楽しむ。	大人に要求や困ったことを 訴えたり、質問をする。	友だちとの会話を 楽しんだり、見たこと、聞いた ことを話す。	人の話を注意して聞き、 相手にわかるように話す。	みんなで共通の話題について話し合う ことを楽しむ。
	表現	いろいろな体位を変えても らい、遊びを楽しむ。	大人に見守られて玩具や身の 回りのものでひとり遊びを 楽しむ。	大人と一緒に手遊びや体を 動かして楽しく遊ぶ。	大人と一緒に素材に触れて 楽しむ。	身の回りの様々なことや物に 気づき、描いたり、体をまねたり、 歌って楽しむ。	身近な生活体験を ごっこ遊びに取り入れて遊ぶ 楽しさを味わう。	イメージしたことを体やことば で表現して楽しむ。	協力し合って友だちと一緒に 描いたり、作ったりする ことを楽しむ。

②年間指導計画

目標	各月の目標		
月 組	桃組 0歳児	桃組 1歳児	雪組 2歳児
4 月	個々の子どもの生活リズムを保障し、新しい環境の中で機嫌よく過ごせるようにする。	個々の生活リズムを大切に、新しい環境の中で機嫌よく過ごせるようにする。	一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、園生活になじめるようにする。好きな遊びを見つけ、楽しむ。
5 月	〃 天候のよい日に日光浴、外気浴等取り入れていく。	ゆったりとした生活リズムの中で自由な活動を十分行い、体を動かすことを楽しむ。	園生活のリズムに慣れ、安心して過ごせるようにする。保育者に見守られながら、友だちとふれあったり、自分の好きな遊びを楽しむ。
6 月	個々の子どもの発達段階に応じた活動を生活リズムの中に位置づける。沐浴を取り入れ清潔に心がける。	ゆったりとした生活リズムの中で自由な活動を十分行い、体を動かすことを楽しむ。	好きな遊びや散歩を楽しみ、保育者に見守られながら、友だちとふれあうことを楽しむ。簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
7 月	〃 1歳を過ぎた子には湯あびを楽ませる。	水遊びを十分楽しむ。	保育者や友だちと開放的な夏の遊びを楽しむ。
8 月	適切な部屋の温度、湿度に心がけ、睡眠保障を行い、機嫌よく過ごせるようにする。	適切な環境を作り、快適に生活できるようにする。水遊びを十分楽しむ。	保育者や友だちと開放的な夏の遊びを楽しむ。
9 月	同じ時間帯のグループごとなどに散歩や戸外活動をする。	さまざまな活動を楽しむ中で自己主張や他児とのぶつかりを十分体験する。	運動遊びを通して前進を動かして遊ぶ。友だちと関わって遊んで楽しさを味わう。
10 月	〃 個々の子どもの発達段階に応じた戸外の活動を工夫する。	散歩を保育者や友だちと楽しむ。	保育者や友だちと一緒に散歩や外遊びを楽しむ。自分の気持ちをできるだけことばで伝えようとする。
11 月	〃 個々の子どもの発達段階に応じた戸外の活動や室内での運動遊びをする。	散歩を保育者や友だちと楽しむ。身の回りの物に興味を持つ。	散歩や遊びの中でみんなと同じことをする楽しさを知る。自分の気持ちをことばで伝えたり、保育者や友だちと会話を楽しんだりする。
12 月	室内外の温度、湿度に留意し、快適な生活をさせる。好きな遊びを十分楽しめるよう一人ひとりの空間作りをする。	興味のある絵本を保育者や友だちと見ながら、ことばの繰り返し、模倣を楽しむ。	遊びの中でみんなと同じことをする楽しさを知る。自分の気持ちをことばで伝えたり、保育者や友だちと会話を楽しむ。
1 月	室内外の温度、湿度に留意し、快適な生活ができるようにする。好きな遊びを十分楽しめるよう一人ひとりの空間作りをする。	自分の身の回りの活動を保育者に見守られながら、少しずつ自分でしようとする。	休み明けの生活リズムを整え、身の回りのことも自分でしようとする。保育者と一緒に簡単なルール遊びを楽しむ。
2 月	大人との信頼関係を軸に身の回りの物、人に対する興味関心の芽生えを大切に受けとめる。	冬の遊びを楽しむ。	冬の遊びを楽しむ。
3 月	天候に応じて戸外での探索活動をのびのびと楽しむ。	保育者に見守られながら好きな遊具、玩具、自然物に自分から関わり、十分に楽しむ。	大きくなることに喜びと期待を持ち、いろいろなことを自分からやってみようとする。みんなと遊ぶことを楽しむ。

②年間指導計画

目標	各月の目標		
組 月	花組 3歳児	星組 4歳児	月組 5歳児
4月	大きくなった喜びを励みにして、新しいクラスで保育者に助けながら、クラスの集団生活を始める。	進級を喜びにし、新しい友だちを迎えたり、新しい部屋になったことを意欲的に喜ぶ。好きな遊びを楽しむ。	年長児になった喜びで他のクラスの子どもたちのお世話をする。新しいクラスに慣れ、自分のしたい遊びを見つけて、落ち着いて過ごす。
5月	大きな集団での生活の中で自分の好きな場所、友だちを見つけて遊ぶ。保育者や友だちと関わり合って遊ぶ。	生活の流れに見通しを持って活動に取り組もうとする。好きな遊びを十分に楽しみ、充実感を味わう。	色々な新しい活動や遊びに積極的に取り組む。決められたグループの活動を自分たちでやっていく。異年齢の子どもたちよの交流を楽しむ。
6月	室内遊びをじっくりと取り組む。 プール遊びを楽しむ。	プール遊びを楽しむ中で運動機能を高める。 好きな遊びを楽しむ中で友だちと共感し合う喜びを味わう。	プール遊びをみんなで楽しみ、水に慣れ、めあてをもってがんばる。ルールやきまりを守り、遊びを楽しんだり、リーダーの仕事をしていく。
7月	プール活動やどろんこ遊び等この時期ならではの体験を通し、友だちとの共感関係を広げる。	水遊び、プール遊びを楽しみ運動機能を高める。友だちと共感し合って遊ぶ中で他児のよさを知り認め合う。	お泊まり保育への期待を持ち、みんなと一泊したり生活することを楽しむ。プール活動をがんばり、少しずつできていくことで自信につなげる。
8月	水に慣れ親しみ、少人数で思いっきり遊ぶ。 異年齢クラスの中で今までとは違った友だち関係を楽しむ。		
9月	休み明けの生活リズムを戻し、整える。 運動遊びを楽しむ。	いやなことや苦手なことでも友だちや保育者に励まされて、挑戦しようとする。	同じ目的を持って取り組み、一人ひとりが力を出しきり、みんなでひとつのことをやり遂げる。しっかり話を聞いて行動する。
10月	秋の自然に親しむ。 遠足に楽しく参加する。	秋の自然物で遊んだり、収穫することを喜ぶ。 体を使ったり、ルールのある活動を楽しむ。	行事を楽しみ、絵や製作などの自分なりの表現を楽しむ。 友だちと一緒に遊びを工夫して楽しむ。
11月	友だちや保育者と関わりながらごっこ遊びを楽しみ共感し合う。	友だちとの関わりを深め、いろいろな遊びに興味をもって楽しむ。	友だちと共通の目的をもち協同遊びやごっこ遊びを楽しむ。
12月	発表会に向けてごっこ遊びを通して共感し合う。	好きな遊びを見つけ友だちとお互いを認め合って遊ぶ。 発表会に向けてお話の世界を楽しむ。	発表会に向けてみんなで意見を出し合い、相談し、力を合わせてひとつのものを作りあげていく。話を最後までしっかり聞く。
1月	生活リズムを整える。 お正月遊びを楽しむ。 ルールのある集団遊びを楽しむ。	お正月遊びをみんなでルールを守って楽しく遊ぶ。	仲間と共通のイメージを持って遊んだり、グループ活動をする。
2月	雪遊びを楽しむ。	雪遊びを楽しむ。	いろいろな雪遊びを工夫して楽しむ。
3月	春を感じて散歩を楽しむ。 ルールのある集団遊びを楽しむ。進級に向けて期待感を持つ。	年長になる喜びと期待を持つ。 年長児と交流し年長児にあこがれをもつ。卒園式に向けて意識的に参加し、取り組む。	卒園製作、卒園式での取り組みに一人ひとりががんばり、自信を持って卒園式を迎えようとする。異年齢交流をし星組に自信をもって伝えようとする。

③年間行事表

月 別	行 事 名
4 月	始業式 入園式 花祭り 内科健診 交通安全教室(3歳児)
5 月	さつまいも植え 保育参観 くつきの森遠足(5歳児) わらべうた 歯科健診 観劇 おはなし会(4・5歳児)
6 月	梅の子遠足 講演会 親子クッキング(5歳児) プール開き わらべうた CAP(5歳児)
7 月	七夕 老人ホーム訪問 お泊まり保育 子育て学習 終業式 夏祭り
8 月	
9 月	始業式 書院参拝 運動会 むし歯予防教室 視・聴力検査(5歳児) おはなし会(4・5歳児)
10 月	動物園遠足(4・5歳児) 梅の子遠足 いもほり 親子クッキング(4・5歳児) 内科健診 視力検査(4歳児)
11 月	くつきの森遠足(5歳児) 保育参観(2歳児) クッキング 書院参拝 おはなし会(4・5歳児)
12 月	発表会 お楽しみ会 終業式 民生委員交流会(観劇) わらべうた
1 月	始業式 もちつき 親子ふれあい活動 おはなし会(4・5歳児) わらべうた ミニコンサート 老人会交流
2 月	節分豆まき お別れ遠足 わらべうた おはなし会(4・5歳児)
3 月	ひなまつり お別れ会 卒園式 親子交通安全大会 修了式
定期的行事	地震・火災等避難訓練 誕生会 乳幼児運動遊び 本の森探検(5歳児)

④ デイリープログラム(1日の活動内容)

(0歳児)

保 育 目 標		
時間	夏 季	冬 季
	3号園児	3号園児
7:00		
8:00	登園開始(標準時間~9:00) 登園開始(短時間 ~9:00)	夏季 に 同 じ
9:00	室内遊び・園庭遊び	
10:00	片付け・クラス保育	
11:00	食事開始(0歳児)	
12:00	午睡(0歳児)	
13:00		
14:00	おやつ	
15:00		
16:00	降園(短時間)	
17:00	延長保育(短時間)	
18:00	降園(標準時間)	
19:00	延長保育(標準時間・短時間)	

④ デイリープログラム(1日の活動内容)

(1・2歳児)

保 育 目 標	
時間	夏 季
	3号園児
7:00	登園開始(標準時間～9:00) 登園開始(短時間 ～9:00)
8:00	
9:00	室内遊び・園庭遊び
10:00	片付け・クラス保育
11:00	
12:00	食事(1～2歳児) 午睡(1～2歳児)
13:00	
14:00	おやつ
15:00	
16:00	降園(短時間)
17:00	延長保育(短時間)
18:00	降園(標準時間)
19:00	延長保育(標準時間・短時間)

夏季
に
同じ

④ デイリープログラム(1日の活動内容)

(3・4・5歳児)

保育目標					
		夏 季		冬 季	
時間	1号園児	2号園児	1号園児	2号園児	
7:00					
8:00	早朝保育	登園開始(標準時間～9:00)			
9:00	登園開始(～9:00)	登園開始(短時間～9:00)			
	室内遊び・園庭遊び	室内遊び・園庭遊び	夏季 に同じ	夏季 に同じ	
10:00	ホームでの活動	ホームでの活動			
11:00					
12:00	食事	食事			
13:00	年齢別活動 午睡(3歳児)	年齢別活動 午睡(3歳児)	午睡なし (3歳児)		
14:00	片付け	片付け			
15:00	おやつ	おやつ			
16:00	降園 一時預かり保育(～17:30)	降園(短時間) 延長保育(短時間)			
17:00					
18:00		降園(標準時間)			
19:00		延長保育(標準時間・短時間)			

(4) 一時預かり保育(1号)・延長保育(2・3号)

- ・1号園児の一時預かり保育について、1日保育日は、8:00～8:30、15:00～17:30とし、半日保育日は、8:00～8:30、11:00～12:30、長期休業中は8:30～15:00が加わり、同様に行う。
 - ・2・3号短時間園児の延長保育は、8:00～8:30、16:30～19:00とし、標準時間園児は、18:30～19:00とする。
 - ・もも・ゆき保育室(0～2歳児)とくま・ぞう保育室(3～5歳児)のゆったりと落ち着いた環境の中で、自分で選択した遊びを友だちや担当保育者とともに、保護者の迎えまで過ごす。
 - ・18:00頃にはおやつを提供する。
 - ・一時預かり保育料と延長保育料は30分100円とする。
- 長期休業中の一時預かり保育料は、8:30～12:30 400円、8:30～15:00 650円とする。

(5) 健康管理

- 内科健診 年2回実施予定(4月・10月)
- 歯科検診 年1回実施予定(5月)
- 尿検査 年1回実施予定(5月)
- 視力検査 年1回実施予定(10月・4歳児)

(6) 給食

① 食事の提供方法等

- ・自園調理とする。
- ・5歳児は遊戯場で一定方向を向き食べる。
- ・3・4歳児は、食事室でホームごとに食べる。(アクリル板の設置)
- ・0・1・2歳児は、保育室で食事をする。
- ・食材はできる限り地元で採れた野菜を中心に、その他の食材と調理する。
- ・できるだけ添加物のない食材を選ぶ。
- ・家庭的な料理を中心に献立を考える。

② 食物アレルギーの対応

- ・担当医に食物アレルギーの生活管理表を作成してもらう。
- ・翌月の献立表を家庭でチェックしてもらう。
- ・その献立表に沿って、アレルゲンとなる食物を提供せず、除去または代替のものにする。
- ・間違っして食さないよう、朝の打ち合わせで確認し、色の違うトレイで提供する。
- ・食事中も間違っして食べないか注意して見守る。

(7) 食育

- ・目標一食を通して子どもの生きる力を培う。
- ・内容一さまざまな体験活動を通して子ども自身が達成感や自信をもち、主体性を発揮する力をつける。
- ・保護者とともに調理活動をしたり、学習をしたりする中で家庭との連携をはかる。
- ・地域の方に野菜の栽培を教えていただき一緒に活動に取り組む。
- ・豊かな食体験をさせる(命の育ちと食を学ぶ栽培・収穫活動・食と調理・協同活動・食と健康づくり)

(8) 外部講師による活動

① 運動遊び

- 各年齢2ヶ月に1回運動遊びを楽しむ。

② わらべうた

- 各年齢・ホームで1年に2回、遠野のわらべうたを覚えてもらい、保育者と楽しむ。

③ 自然体験活動

- 森林や里山で子どもたちが森林を活用した遊びに取り組み、自然や人とのふれあう。

④ おはなし会

- ボランティアのおはなしサークル「くれよん」に年5回、4・5歳児対象におはなしを聞かせていただく。

⑤ 人形劇

- 民生委員のご厚意により、人形劇団あつぷりけによる人形劇を年に1回観劇する。

(9) 安全対策

① 避難訓練

毎月1回避難訓練を行う。(火災・地震) うち1回は、保護者引渡し訓練をする。
火災避難訓練では、消防署に来ていただき、通報訓練・消火訓練をする。
その他の避難訓練として大雨洪水・Jアラート・原発・不審者対応の訓練を行う。

② 交通安全教室

3歳児を対象に信号の見方・横断歩道の渡り方について知らせる。
カンガルークラブで交通安全の紙芝居を読み、気をつけることを伝える。
3月に交通安全協会が実施する親子交通安全大会に5歳児親子が参加する。

③ 不審者対策

- ・電気錠による門の施錠・防犯カメラ・非常通報装置・防犯管理システム等を設置している。
- ・避難訓練を毎月実施する中で、地震や不審者への対応など様々な非常事態を想定した訓練を行うことにより、危機管理体制について全職員が理解して適切に行動できるよう意識を高め合う。
- ・園児には不審者対応の紙芝居を補導員の方から見せていただき、気をつけることを知らせる。

④ 食中毒対策

- ・調理室等の消毒を年2回実施する。
- ・食中毒注意報を早く知らせ、注意する。
- ・園児には手洗いの指導をする。
- ・嘔吐物の処理は、マニュアルに従い素早く処理をする。
- ・職員は月1～2回検便を受ける。

⑤ コロナ対策

- ・健康観察表により毎朝夕の検温・体調チェック
- ・密を避けるため、バス通園は1号園児を基本とし、登園は必要な園児のみとする。
- ・園児は年齢と場に応じてマスクを着用し、保護者・職員は必ずマスクを着用する。
- ・保護者が園舎内に入ることは必要最低限にする。
- ・保育室等の換気に留意する。
- ・園児の昼食時は見守り、職員は職員室で時間差で食べる。(アクリル板の設置)
- ・うがい・手洗いを丁寧にするよう働きかける。
- ・保育室等の消毒作業をする。
- ・体調が悪い園児は速やかに保護者に連絡をし、迎えを依頼する。
- ・さくらんぼ広場では、天気や内容によって人数制限をする。

5 地域との関わり

(1) 子育て支援事業 さくらんぼ広場

- ① 子育て支援室の開放 毎週火・水・木曜日 9:00～14:00
- ② 園庭開放 年間を通して 平日16:30～土曜は終日(感染状況による)
- ③ 遊びの広場 毎週火・水・木曜日 9:00～11:30
親子のつながりを深めながら、親同士の交流も図り、安心して子育てできる場を提供する。
- ④ 子育て相談 開設時間内随時(主に午後の時間を利用・希望時間帯調整あり)
子どもを遊ばせながら子育てについて個々に話し、子育てのヒントを提供する。
講師を招き、子育てについての話を聞き、相談する機会をもつ。
- ⑤ 子育て情報の提供 さくらんぼだよりの発行(随時)
- ⑥ 親子手作り活動 随時 いろいろなおもちゃを親子で作って遊んで楽しむ。
- ⑦ 運動遊び 月1回 乳幼児の心と体の健やかな成長を図るため、親子でできる運動遊びについて学ぶ機会とする。
- ⑧ 文化的交流会 学期ごとに1回 観劇・コンサートを実施予定(感染状況による)

(2) 実習生受入れ予定

6月6日～6月18日	幼稚園実習 1名
6月20日～7月1日	幼稚園実習 1名
10月17日～28日	保育実習 1名
8月1日～20日	保育実習 1名

(3) 小・中学校等との連携に関する計画

- ・中学生職場体験 安曇川中を受入れ予定
- ・保育ボランティア活動 夏休み小中学生の保育ボランティアの受入れをする予定
- ・小学校との連絡会(2回/年) 各小学校と 卒園児について5～6月頃に(5校)、就学児について3月頃に(3校)話し合う。
- ・体験入学 3学期に各小学校で体験入学をさせていただき、在校生と関わり、小学校に親しみと期待を持つ。

6 職員の状況

(1) 衛生感染対策

- ・定期健康診断
- ・検便(月1～2回) ノロウィルスの検便(冬期2回)
- ・嘔吐処理セットの配置
- ・コロナワクチン接種・インフルエンザ予防接種の実施
- ・保育室等の消毒

(2) 会議

会議	内容	参加者	開催数
・職員会議	方針・園務・行事等について	できるだけ多くの職員参加	学期に1回程度
・運営会議	園の運営・経営・組織等について	園長・副・主幹・指導	年度末に数回
・担任会議	日課・計画・行事・活動等について	3～5歳児主幹・担任	学期に3回程度
・ホーム会議	月評価・反省・個別配慮等について	3～5歳児主幹・担任・補助	月1回
・クラス会議	月評価・反省・個別配慮等について	0～2歳児主幹・担任・補助 3～5歳児主幹・担任・補助	月1回 学期に1回程度
・延長・預かり保育会議	環境構成・個別配慮等について	3～5歳児指導・延長預かり担当	学期に1回程度
・特別支援会議	様子・関わり方・保護者対応・就学等	3～5歳児指導・担任・担当・外部	月1回(随時)
・食育会議	親子クッキングの献立等について	3～5歳児指導・外部栄養士	感染状況による
・給食会議	献立・アレルギーの確認等について	主幹・給食主任・栄養士	月1回

(3) 研修

月	園内	園外
4		市乳幼児リーダー研修会(毎月) 職員向けCAPワークショップ 市教育支援関係研修
5	わらべうた研修 運動遊び研修	園長等運営管理協議会 県保育協議会園長研修会 市食物アレルギー研修
6	救急救命研修 火災通報訓練研修 わらべうた研修 運動遊び研修	幼児交通安全指導者研修会 市保育協議会保育研究集会 市障害児保育研究部会 子育て支援連携会議
7		市内園職員研修会 市人権教育研究大会 市給食研究部会
8		交通安全管理者講習 市内園職員全員研修会 市ミドルリーダー研修 市障害児保育研究部会 幼稚園教育課程及び教育課題研究協議会
		県保育協議会調理担当者研修 市給食研究部会 市乳児研修
10	運動遊び研修 火災通報・消火訓練研修	園長等運営管理協議会 市特別支援研修会 市給食研究部会 市内園職員全員研修会
11		主任保育士研究部会 子育て支援連携会議

		市自然体験研修
12		市園職員全員研修 市保育協議会保育研究集会 主任保育士研究部会
1		県子育て支援員研修
2	わらべうた研修 運動遊び研修	県保育協議会園長研修会
3	運動遊び研修	

*他にキャリアアップ研修を個人的に受講

(4) 福利厚生

- ・コロナワクチンの接種・コロナ関係の休みは特別休暇とする。
- ・インフルエンザ予防接種の費用負担
- ・年休の行使を勧める。
- ・学期ごとに職員誕生会を行う。
- ・私学共済振興事業団福利厚生事業の利用促進をする。

7 保護者との関わり

(1) 各おたよりの発行

- ① 園長だより
- ② クラス・ホームだより
- ③ 保健だより
- ④ 食育だより
- ⑤ 献立表・給食だより

(2) 保育参観・保護者懇談

参観は、年間3回を予定している。(ホーム・親子・クラス)

家庭訪問・個別懇談を年間2回予定している。

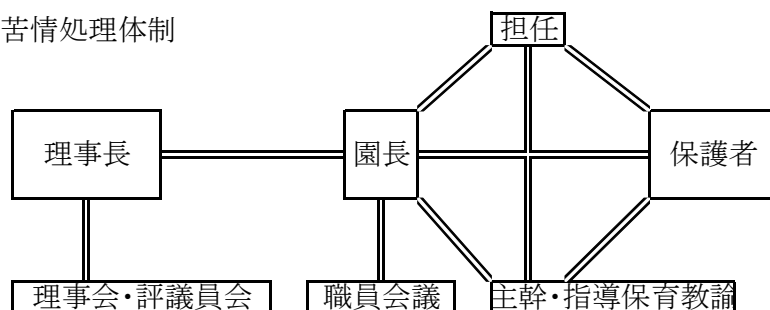
その都度必要と思った家庭とは懇談の機会をもつ。

課題のある子については、保護者との懇談の中で、無理のないよう教育相談・発達検査等を勧めている。

(3) 情報公開

ホームページに最新の活動やおたより、子育て支援情報を公開していく。

(4) 苦情処理体制



- ・窓口は、基本的に主幹保育教諭ならびに担任とする。
- ・苦情受付ならびに面接は、原則、複数で対応する。
- ・内容によっては、初期の段階においても園長が同席する。
- ・苦情処理責任者は、園長とする。
- ・第三者委員は、民生児童委員等とし、保護者に周知する。

(5) 補償に関する内容

- ・日本スポーツ振興センターの災害共済給付に加入している。
- ・その他に園児は民間保険会社の損害保険に加入、未就園児は傷害保険に加入している。
- ・常勤教職員は私学共済保健事業に加入し、全教職員が労災保険に加入している。

8 外部監査の実施

公認会計士による外部監査を5月に実施する。

*すべての活動・行事・職員研修等において、新型コロナウイルス感染症の流行状況を見極め、その状況に応じた活動・行事・研修等を行っていくため、形を変化させたり、実施できなかつたりすることがあります。